

第21回 日本プラグフェスト 開催報告

第21回日本プラグフェストを開催いたしました。

日本プラグフェストは、同一のインターフェース規格を使用するメーカー同士が、相互運用性を検証するための技術イベントです。

大半の参加予定メーカーの出張制限等の規制がない状況での開催は2019年以来で、昨年の京都開催よりも参加メーカーのエントリー数が増加し、活気のあるイベントに戻りつつあります。

今回も3密を避けた会場のレイアウト設計、マスク及びフェイスシールドの着用、換気の徹底を行いながらの開催となりました。

特にゲーム機で注目されている新機能を搭載したモデルが多くエントリーされており、複数の機材を接続した際の挙動を業界全体で初めて確認をすることが出来、参加者からは大変有意義なイベントであるという声を多く頂きました。

●目的・特徴

同一インターフェース規格(HDMI)を持つ製品間の相互運用性を検証し、確実なものとする事で、不具合解消や品質の向上を目的としています。参加メーカーは、ソース機器1、シンク機器2、リピータ機器3に分かれ、自社製品と他社製品との接続を行い、通信・映像・音声・暗号化検証において規格に準拠した通りの挙動となっているか、安定的な接続がなされているか等、細かく検証します。また日本プラグフェスト独自の試験項目を策定し実施することで、参加メーカー全体の品質向上を促しています。

●参加メーカー・機種

- ・参加メーカー 16社 41名
- ・参加機種 シンク機器/7機種(TV、プロジェクタ等)、ソース機器/4機種(カメラ、ゲーム機等)
リピータ機器/4機種(AVアンプ、AVレシーバ等)、ケーブル/2機種(ケーブル)

●試験方法

▼ 個別試験

- ・各チーム3社の試験
- ・1スロット105分

▼ システム試験

- ・ソース・リピータ・ソース・ケーブルの複数チームと接続する試験
- ・日本プラグフェスト独自の試験を用い、一般家庭での複雑な機器の組み合わせを再現
- ・1スロット105分

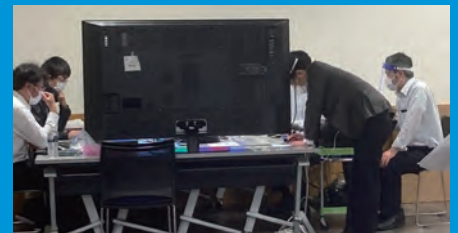
プラグフェスト実行委員会

●会期・場所

会期:2022年5月26日(木)~27日(金)

場所:一般財団法人京都教育文化センター

主催:一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)



会場風景

次回の予定

開催月 2022年12月 場所 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

- テスト規格:HDMI ●参加資格:HDMI搭載機器メーカーおよび、ケーブルメーカー
- 参加料金:1名 22,000円(税込)

詳細につきましては、日本プラグフェストHP(<http://www.jasa.or.jp/plugfest/>)にてお知らせいたします。

- 1 デジタルコンテンツを出力する機器(BDレコーダ、デジタルカメラ等)
- 2 デジタルコンテンツを受信し表示する機器(TV、プロジェクタ等)
- 3 ソース機器とシンク機器間で、信号の再送信等を行う中継機(AVアンプ等)